

東京大学での所属学部/研究科・学年(プログラム開始時):工学系研究科建築学専攻修士1年

参加プログラム: 派遣先大学:オーストラリア国立大学

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体
5.民間企業(業界: 建設業) 6.起業 7.その他()

派遣先大学の概要

オーストラリア国立大学。総合大学。ただし建築学科はなかった。TSCP 室のようなオフィスが大学内にあり(ANUgreenとよばれている)、そこにてインターンを行った。

参加した動機

省エネルギーに関する研究に興味があってもともととしており、その関係で TSCP 室とも関わりがあった。今回オーストラリア国立大学にてキャンパスのサステナブルに関する業務に従事できるということで日本との比較も含めて多く学ぶことができるのではと考えて参加した。

参加の準備

① プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

航空券や保険等、採用結果通知から期限が間近であったため、計画的に行うことが必要。

② ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

ETAとよばれる電子ビザ。インターネット上で非常に簡単に取得できた。

③ 医療関係の準備(出発前の健康診断、予防接種等)

歯医者に行って状態を診てもらった。

④ 保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

付帯学災。

⑤ 留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

夏休み中の留学だったため、特に単位等で手続きは必要なかった。

⑥ 語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

自分の研究が忙しくあまり準備できなかった。

⑦ 日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

英語はドラマを見てしっかり準備しておくともよいかも。オーストラリアは季節が逆で、特に乾燥しているため、のど飴やのどスプレーなどを持参すると思う。

学習・研究について

① プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等)

ANUgreenにて実験系の研究室の省エネルギーに関する研究。平日9時-5時にオフィスにてレポートを作成していた。また、キャンパス内の熱源プラントなどを見学させてもらった。

② 学習・研究面でのアドバイス

自分ができることはきちんとできないと伝え、アドバイスをもらう。

③ 語学面での苦勞・アドバイス等

ドラマを字幕なしで笑えるようになってから行くと日常を楽しめると思う。

生活について

① 宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

BruceHallという寮。支給された。あまりきれいではないが、学生同士のコミュニティがしっかりとあって友達ができる。

② 生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

基本的に乾燥している。8月末は花粉の季節。花粉症の人は要注意。自転車を貸与されたので楽しめた。お金は基本的にどこでもクレジットカードを使える。

③ 危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安は全く問題ない。ただ、寮によってはあまりいい噂を聞かない寮もあった。

④ 要した費用とその内訳(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
航空賃 20 万(東大負担)、寮代(宿泊・食堂)15 万(ANU 負担)、お土産や現地移動・交際費代 8 万

⑤ 奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
上記の大学負担は募集時にそのようになっていた。

⑥ 学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末の過ごし方など)
現地の日本人コミュニティのソフトボール大会に参加。

派遣先大学の環境について

① 参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
サポートは特になし。現地の人にやさしくしてもらった。

② 大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)
インターンであり、学生ではないため、施設は使わなかった。

プログラムを振り返って

① プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

海外の国のキャンパスの現状についていろいろと学べた。彼らが日本のことをどう感じているか、日本の製品や技術が現地でどのように普及・利用されているかなど知ることができた。自分の想像以上に日本のものは世界で利用されていて勇気もらった。

レポートを割と頑張って製作したが、それをちゃんと認めてくれて伝わったのがうれしかった。今後も自信をもっているようなことに取り組んでいこうと思う。

② 参加後の予定

自分の研究を進める。また、今回の経験を生かして東大キャンパスの省エネに関するプロジェクトを進めていく。

③ 今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

自分の専門を深めていると、現地へ行った後もその専門を中心に話を広げることができるため、自分の専門はしっかり勉強しておくと思う。

その他

① 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

③ その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

Tidbinbilla にて。野生のカンガルーの群れ。

